

Hello Yubari | 新たな想い

旧夕張市美術館収蔵品セレクション展

vol.1 景色が織りなす温もり

畠山哲雄 大崎盛 斎藤清

2023年11月3日 [金・祝] — 12日 [日]

10:00 — 16:30 入場無料 休館日: 11月7日 [火]、11月9日 [木]

森の岩ギャラリー
(北海道教育大学 岩見沢キャンパス内)

主催: 北海道教育大学岩見沢校 (アートマネジメント美術研究室)
夕張市教育委員会
企画制作協力: コールマイン研究室
助成: 北海道教育大学令和5年度学長戦略経費 (地域貢献プロジェクト)

Hello Yubari | 新たな想い

夕張市美術館は道内で2番目の市立美術館として1979年に開館し、夕張市が2007年に財政再建団体に指定後、休館を挟みながらも継続されましたが、積雪で屋根が崩落し2012年にその幕を閉じました。幸運にも収蔵作品は無事で、現在も市内の収蔵庫に保管されています。

それから十年を経た2022年、学生たちと収蔵庫前の廊下で収蔵作品を見せていただく機会がありました。それまで眠っていた作品が目覚まし、一斉に呼吸を始めたかのような存在感で、過去と現在が交わる空間は暖かく、何より充実した時間でした。この体験から、世代と地域を越える美術作品の力、それを守り伝えていく美術館の役割、社会における地域文化教育の必要を実感し、改めて未来を考えていく機会になればと、夕張市教育委員会の協力を得て収蔵作品展と教育プログラムを進めました。

この企画展シリーズ《Hello Yubari | 新たな想い》は、学生たちが残された作品に会いに行き、作者の表現に時間をかけて触れ、かつての炭鉱町に新たに想いを馳せる鑑賞体験から始まります。美術を専門に学ぶ学生たちが夕張の歴史も学びながら、貴重な作品群の中から自分達の視点で作品を選び企画しました。今年は第一弾として「景色が織りなす温もり」と題し、夕張ゆかりの作家3人の風景表現を、油彩画、版画、写真、水彩画、スケッチなど未公開の作品も含めた約50点で紹介します。

大学内の「森の岩ギャラリー」という小さな居心地の良い空間で学生たちがお待ちしています。ご高覧いただければ幸いです。

北海道教育大学 美術文化専攻教授 三橋純予
(アートマネジメント美術研究室)

※本企画は毎年展示作品を変えながら複数年に渡る開催を予定しています。



畠山哲雄《冬の川》1978年



畠山哲雄《山手町の2階家》1994年



大崎盛《真谷地炭鉱》1987年

Talk Event

トークイベント

夕張から、Hello! 展示作品についてお話ししよう

夕張市美術館の元館長が展示作品や展示作家との思い出を約1時間お話しします。

日時 | 11月3日 [金・祝] 14:00~ 会場 | 森の岩ギャラリー

参加無料 / 申込不要 / 先着 15名 / 途中入退場可能

※お話会の開催中、参加者以外は自由鑑賞しにくくなります。

Gallery Talk

ギャラリートーク

学生による作品解説

本展の企画制作に関わったアートマネジメント美術研究室のメンバーが、ご来場の皆様に会場で作品解説を行います。

※会期中随時実施予定

森の岩ギャラリー (北海道教育大学 岩見沢キャンパス内)

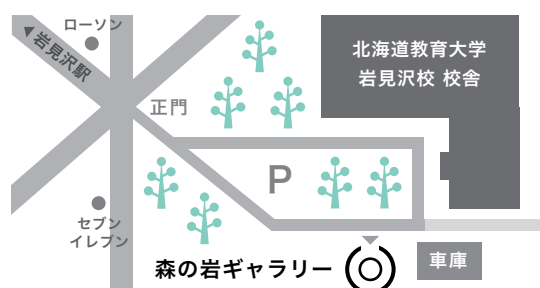
〒068-8642 北海道岩見沢市緑が丘2丁目34-1

徒歩 | JR 岩見沢駅から約30分

バス | JR 岩見沢駅前の中央バス岩見沢ターミナルから「教大前」下車

- ・かえて団地循環線(東高先回り:系統1)で約8分
- ・南町・春日循環線(市役所先回り:系統10)で約13分
- ・いわみざわ公園線(系統13)で約8分
- ・岩見沢栗山線(教大前経由:系統27)で約8分

お車 | 道央自動車道 岩見沢ICから約1.5km(キャンパス内に無料駐車場有)



お問い合わせ: artmanagement.iwamizawa@gmail.com (北海道教育大学アートマネジメント美術研究室)